

令和5年度 全国私学教育研究集会香川大会 実施報告



一般財団法人日本私学教育研究所（以下、当研究所）が主催する全国私学教育研究集会香川大会は、令和5年11月9日（木）～10日（金）の2日間、香川県高松市のJRホテルクレメント高松を会場に「持続可能な社会を実現する私学教育の創造」を研究目標に掲げて開催しました。全国私学教育研究集会は私学教育に係る諸問題の研究と今後の私学教育の発展をめざして、全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校の教職員を参加対象とし、各地区の持ち回り制で毎年度開催しており、今年度は中国・四国地区が開催地区となりました。当研究所との連携の下、中国・四国地区私立中学高等学校連合会及び香川県私立中学高等学校連合会が周到な準備とその加盟校から多大なるご協力を頂いて実施し、全国の私立中学校・高等学校・中等教育学校から513名の参加者を得て、盛会裡に終了することができました。関係各位に心より御礼申し上げます。

初日は全体集会（開会式・全体会）を行い、開会式では香川県知事並びに高松市長の代理として、香川県副知事の大山智様と高松市副市長の加藤昭彦様に臨席頂き、祝辞を賜りました。全体会では東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター技術経営戦略学専攻教授の松尾豊先生による記念講演「人工知能の進展と人材育成」、日本私立中学高等学校連合会の吉田晋会長及び当研究所の平方邦行所長による「教育政策と私学情勢について」をテーマとした報告を行いました。続いて、香川県私立学校活動紹介として坂出第一高等学校少林寺拳法部の生徒が少林寺拳法演武を、尽誠学園高等学校和太鼓部の生徒が和太鼓演奏を披露しました。全体集会終了後の教育懇談会では香川県知事の池田豊人様と高松市長の大西秀人様に臨席頂き、祝辞を賜りました。

2日目は私学経営、教育課程、法人管理事務運営、生徒指導、特色教育の5部会に分かれ、それぞれの部会研究目標の下で、講演、パネル・ディスカッション、実践発表等を行いました。初日、2日目とも参加者からは今後の参考となる内容であり、自校に持ち帰り、実践したい等の評価を頂きました。



第1日「全体集会」

◆開会式

開会式は、溝淵聖豪・大会運営総括委員長の開会のことばで始まり、吉田晋・当研究所理事長、中村道郎・実行委員長の挨拶の後、来賓の大山智・香川県副知事、加藤昭彦・高松副市長からのご祝辞を賜りました。

続いて、登壇者の紹介が行われた後、次年度大会開催地区の九州地区を代表して、小山康直・次期大会実行委員長より令和6年度全国私学教育研究集会大分大会の案内も兼ねて挨拶が行われ、三谷雄治・副運営総括委員長の閉式のことばで開会式を終了しました。



溝淵聖豪氏

吉田晋氏

中村道郎氏



大山智・香川県副知事

加藤昭彦・高松副市長

小山康直氏

◆全体会

◇記念講演／報告／香川県私立学校活動紹介



松尾豊氏

吉田晋氏

平方邦行氏



坂出第一高等学校少林寺拳法部



尽誠学園高等学校和太鼓部

開会式後の全体会では、まず、日本におけるAI（人工知能）研究の第一人者とされている東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター技術経営戦略学専攻教授の松尾豊先生による、「人工知能の進展と人材育成」と題した記念講演を行いました。続いて、「教育政策と私学情勢について」をテーマに吉田晋・中高連会長と平方邦行・当研究所所長が報告、香川県私立学校活動紹介として、坂出第一高等学校少林寺拳法部の生徒による「少林寺拳法演武」、尽誠学園高等学校和太鼓部の生徒による「和太鼓演奏」を披露しました。

第2日「部会」

◆私学経営部会

「持続可能な社会への私学の指針～子供たちの豊かな未来を築くために～」を研究目標として実施し、137名が参加しました。同部会では、①丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸課上席学芸員の古野華奈子氏による講演「猪熊弦一郎の画業素直な、虚飾のない姿で」、②富士建設株式会社代表取締役の眞鍋有紀子氏による講演「地域社会に求められる役割を果たす」、③（東京都）東京電機大学副学長の広石英記氏、（香川県）高松中央高等学校校長の香川泰造氏、（長崎県）学校法人西海学園理事長の菅沼宏比古氏の3名のパネリストと順天中学高等学校校長の長塚篤夫氏をコーディネーターとしたパネル・ディスカッション「持続可能な社会への私学の指針～子供たちの豊かな未来を築くために～」の3つのプログラムを行いました。



左上から古野華奈子氏、眞鍋有紀子氏、広石英記氏、
左下から香川泰造氏、菅沼宏比古氏、長塚篤夫氏

◆教育課程部会

「新たな社会の創り手の育成～個別最適かつ協働的な学びへの転換～」を研究目標として実施し、88名が参加しました。同部会では、①同志社女子大学名誉教授、ネオミュージアム館長の上田信行氏による基調講演



上田信行氏



谷 益美氏



上山朋子氏



合田意氏

『可能性の教育学』にチャレンジしよう！)、②株式会社 ONDO 代表取締役、早稲田大学ビジネススクール非常勤講師の谷益美氏によるワークショップ「ファシリテーターとしての教員の在り方～『Yes and』のマインドセット～」、③(広島県) 盈進中学高等学校教諭の上山朋子氏による実践発表「読書科をベースとした探究デザインの改革～学校の全領域に読書を～」、④(香川県) 大手前高松中学高等学校教諭の合田意氏による実践発表「地域のキャリア開発のプラットフォーム化を目指したキャリア教育プログラム群の開発」の4つのプログラムを行いました。

◆法人管理事務運営部会

「私学だからできる持続可能な働き方とは」を研究目標として実施し、105名が参加しました。同部会では、①愛媛大学大学院教育学研究科教授の露口健司氏による講演「教職員の『働きやすさ』と『働きがい』を高めるリーダーシップ実践」、②青山学院大学コミュニティ人間科学部コミュニティ



露口健司氏



西島央氏



佐藤晴雄氏

人間科学科教授の西島央氏による講演「学校教育活動の一環としての部活動の意義と役割～教育社会学の観点から」、③帝京大学教育学部長・教授の佐藤晴雄氏による講演「保護者対応の視点と実践」、④研究協議(全体会)「私学だから出来る持続可能な働き方改革」の4つのプログラムを行いました。研究協議では参加者に事前アンケートを実施し、寄せられたテーマに沿って、6名程度のグループに分かれ、参加者同士意見交換を行いました。

◆生徒指導部会

「若者たちの多様な個性が生きる社会の創造」を研究目標として実施し、90名が参加しました。同部会では、①医療法人社団光風会三光病院院長の海野順氏による講演「ネット・ゲーム依存症～i Swing を用いた支援の提案～」、②本郷さくら総合法律事務所代表弁護士、兵庫教育大学大学院准教授の神内聡氏による講演「18歳成人の時代における学校教育と生徒指導の役割」、③高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門教授の矢野宏光氏による講演・ワークショップ「アンガーマネジメント～適切な教育に向けたふれな心づくり方～」の3つのプログラムを行いました。



海野順氏



神内聡氏



矢野宏光氏

◆特色教育部会

「地域、社会と連携した若者たちの学び」を研究目標として実施し、72名が参加しました。同部会では、①岡山トヨタ自動車株式会社代表取締役社長の梶谷俊介氏による講演「地域、社会と連携した若者たちの学び」、②京都芸術大



梶谷俊介氏



吉田大作氏



日山貴浩氏



林丈嗣氏

学クロステックデザインコース准教授の吉田大作氏による講演「急変する時代に私学の強みを活かした特色ある探究的な学びの構築に向け取り組むべき3つのこと」、③(香川県) 尽誠学園高等学校教頭の日山貴浩氏による実践発表「みんなで創る、教科『未来クエスト』—普通科アビリティコースの挑戦—」、④(大阪府) 近畿大学附属中学高等学校高大一貫教育部主任の林丈嗣氏による実践発表「地元企業×高校生 SDGs 観点で社会課題を考える東大阪未来プロジェクト」、⑤研究協議(全体会)「私学の特色教育を考える」の5つのプログラムを

行いました。研究協議では当日、参加者にアンケートを実施し、高知県の高知中央高等学校、北海道の札幌静修高等学校、島根県の益田東高等学校の3校の先生方にそれぞれの特色教育について発表頂きました。

アンケートより

全体集会（記念講演・報告・私立学校活動紹介）についてのご意見ご感想

【記念講演】

- これからの社会がどのように変わっていくか教えられ、若者も変わっていていると実感した。
- 人工知能において、「時間（サイクル）を早く回すという視点が印象的。人材育成の場面では、まず一步踏み出すこと失敗を認めることが必要であることを感じた。
- ICTの活用をはじめ、生成AIを教育活動全般において、今後どのように効率的に活用するかを真剣に考えていかなければならないと思った。
- 今一番ホットは話題「生成AI」について、専門家の先生の最新研究結果や状況をお聞かせ頂く貴重な機会となった。難しい公式も多々あったが、とてもわかりやすく言い換えて頂いたり、例を示して頂いたりして、結論まで想像でき、大変興味深かった。
- 驚きの連続であった。これからの時代、AI抜きでは学校教育も語れない時代になっていくと確信した。深層学習をどのように学校教育に取り組んでいくか早急の課題であると感じた。Chat GPTの登場で生徒にはもちろん、教員も使い方にルールみたいなものを設けなくてはいけない気がした。

【報告（吉田晋会長）】

- いつもながら吉田会長の熱い想いに感動。今回は創造性について配慮頂いたが、STEAMのAを経営者や校長にとっての教養であると考えている。
- 吉田会長のリーダーシップと内容について、具体的にわかりやすく良かった。
- 私学を取り巻く状況について具体的に数字を挙げて提案されたのでわかりやすかった。

【報告（平方邦行所長）】

- 短時間での報告のためにスピードが速かったが、大変有益なものと感じた。
- 自由がないところに創造性は育たないということに共感した。
- 普段は考えもしないこと、見過ごしがちなことを伺えて良かった。

【私立学校活動紹介】

- 生徒の活動に元気をもらった。生徒達の輝ける場として、今後も続けてほしい。
- 少林寺拳法も和太鼓も、生で初めて見て感激した。学生が仲間ですろって行う演武、演奏に、一生懸命に取り組んでいるのを強く感じた。
- 坂出第一高校の少林寺拳法演武と尽誠高校の和太鼓演奏は迫力があり、AI時代でも人間にしかできない事は人を感動させることだと感じた。

各部会の内容等についてのご意見ご感想

【私学経営部会】

〈講演Ⅰ〉

- 猪熊画伯の「存在そのものが美」は教育の原点だと思う。
- 芸術を通じて、創造性について考えることができた。
- 藤島武二やマティスからの言葉を自分ごととしてしっかり受け止める姿勢が素晴らしいと感じた。
- 猪熊さんの画風の変化から、日々変化する社会情勢のなかで本質的なものを大切にしながらも各校が大胆に変化しなければならないと思った。

〈講演Ⅱ〉

- 感銘を受けた。社会における役割を自認しているからこその中津万象園運営だと思う。
- 具体的で、問題についてより先にすすむよう新たな取り組みをされていることは素晴らしいと感じた。バイタリティとチャレンジすることを学んだ。
- 眞鍋社長の建設業者としての見識見事であり、仕事＝事業への情熱…万象園庭園の持続化と未来への展望もあり、素晴らしかった。学校経営にとって、分析と5年先、10年先への展望をする上で参考になった。

〈パネル・ディスカッション〉

- 私学本来の役割である、子どもたちをどう育てるかという視点・実践研究を広石先生から聞けて良かった。

- 人件費比率について、人員調整について、質問事項に対し、可能な範囲でご回答いただきありがたかった。
- 各地・各学校において本県とはかなり違う部分や、参考になる意見や発表を聞く事ができてとてもよかった。
- 東京電機大学の改革は大変参考になった。

【教育課程部会】

〈基調講演〉

- 実際にやってみる似顔絵、サイコロを使ってのトーク、生徒側の気持ちをイメージできる楽しいワークショップが印象的だった。
- インプット＝学ぶの成果をスピーディにアウトプットしていく環境作り、きっかけ作りをしていく重要性を感じた。
- 一番印象に残った講演だった。つまらない授業が生徒の学力を向上させていないと感じた。体験を通して、それを振り返り、意味づけするところまでを実際に経験し、おもしろいと改めて感じた。
- 大変感銘を受けた。消極的なミスではなく、積極的なチャレンジをすることの楽しさを感じた。帰ったらたくさんチャレンジしてみようと思う。

〈ワークショップ〉

- 有意義であった。すぐに学校に帰って実践できる内容でよかった。
- とても楽しく学んだ。不安を取り除くための傾聴力の重要性やツールとして何を使っていくのかなど、たくさんのお土産をいただきありがたかった。
- 各活動で、先生方とコミュニケーションを取れる場面が多くあり、とても楽しかった。

〈実践発表Ⅰ〉

- 読書を通して生徒を指導する話、大変勉強になった。
- 個人的にもっと聞いてみたいと思える内容だった。

〈実践発表Ⅱ〉

- 地域の企業と連携した探究学習の取り組みが大変参考になった。
- 自分の学校ではアイデアとして出ていない考え方がたくさんあり、驚いた。またアプリケーションの使い方、参考になった。

〈その他〉

- 「何か授業がつまらないな、生徒が発言しないな」とまさに感じていたところだった。今日学んだことを意識しながら、授業の場を活発なものに変えていきたいと思う。

【法人管理事務運営部会】

〈講演Ⅰ〉

- 信頼関係の重要性がよくわかり、内容もよく理解できた。
- 働きやすさと働きがいの境がよくわかっていなかったと痛感した。働きがいとは奥深いものだとう理解できた。
- 時短にとらわれて、働きがいに目が向いていなかったことを痛感した。職場の人間関係が何より必要だと勉強になった。教職という仕事に誇りを持って続けられるように、焦らず考えていくことが大切だと思った。
- とても参考になった。本校、働き方改革に取り組んでいこうと動き出したばかりである。いったん長時間労働から取り組んでいこうと思っており、そこでの大事な考え方を知ることができた。職場でフィードバックしたい。

〈講演Ⅱ〉

- 部活動のあり方について考えることができた。その部活動が存在する意義、活動の中で生徒が何を得られるのかという、「部活動」を多角的に見直すことが大切だと思った。
- 部活動を「正式な教育活動」と位置付ける時期にきていると感じており、講演を参考に検討したい。

〈講演Ⅲ〉

- 保護者対応は具体的で今後活かしていきたい。
- いろいろなケースや判例の話を通き、大変参考になった。
- 濁さずハッキリ述べてくださって、役に立った。

【生徒指導部会】

〈講演Ⅰ〉

- 依存症の仕組みなど、理解できました。しかし、連携して取り組めるような組織が同時に必要とも感じた。
- ゲーム以外の依存状態でも使えるようなプログラムを教えていただき、これを活用して応用できるところはしていきたいと思った。

- 具体的事例を多く提示頂き、勉強になった。また、ネット・ゲーム依存のメカニズムについては、子どもの心の動きのメカニズムまで教示いただき、非常に有益だった。倍の時間をかけてでも聞きたい。
- ネット、ゲーム依存に関する講演では様々な誤解や偏見、また適切なアプローチについて知ることができた。iSwing の 2 冊の冊子など資料が充実しているのもよかった。香川県のゲーム条例についても興味があり、その言及もあったので、とても有意義な時間となった。

〈講演Ⅱ〉

- 法律の観点では認めないといけないことでも、教育的な効果を考えたときに、法律通りでなくても良いという部分があることは救いだと感じた。
- 現場だけの経験では知ることのできない幅広い考え方や法的な側面などを学ぶ事ができて貴重な機会となった。
- 18 歳成人高校生と法律・校則との関わりを聞いたことがよかった。現場にいと、どうしても法律の観点が見えにくくなるので、注意したいと思った。
- 現在の校内にもおこりうることで大変参考になりました。特に Q&A はすぐにでも役立てそうだった。

〈講演Ⅲ〉

- 非常に興味を持ち、かつ事項での実践に利用できそうな内容だった。
- 「アンガーマネジメント」についての話は、学習指導、部活指導、私生活についても、とてもためになった。
- 生徒に対してだけではなく、自分の気持ちのコントロールについてもしっかり向き合うことができたのでよかった。
- 他教員と情報交換ができ、今後の勉強になった。

〈その他〉

- 生徒指導は新種の事案が増えており、その対応に苦慮しているのが現状である。その観点で大変参考になった。
- お三方に勤務校で話をさせていただきたいと思うほど、充実した内容だった。
- 通常指導にも、すぐに活用できるものばかりだった。

【特色教育部会】

〈講演Ⅰ〉

- 企業と学校の連携などに関するお話が大変参考となった。本校においても 3 年生の就職などで地元企業のお世話になることも多くあると考えており、非常に有益な内容であった。
- 特色教育以前に学校教育と社会とのつながりについて、改めて認識することができ、明日からの教育現場で様々な形で役立つ意識づくりになった。
- 一般企業の方のお話はとても貴重でありがたかった。学校と企業が意外と近いことを知れてよかった。

〈講演Ⅱ〉

- 探究的な活動について、様々な学校の特長、やりがいがあり、学ぶことが多かった。様々なやり方を本校でできるように、小さなことから実践していきたい。
- 今、授業をしていて悩んでいた AI との組み合わせ方の根本的な姿勢や考え方を学ぶことができ、非常にありがたかった。
- 吉田先生が話されることは、私学教育ならではの特色を改めて考え直す事、そして海外に目を向けた教員側の視点の在り方について、気づきを得ることばかりだった。

〈実践発表Ⅰ・Ⅱ〉

- 各校の取り組みがとても刺激的だった。当校の今後の施策を考える上での参考になった。
- 他の学校の実践について知れて刺激になった。どの学校も特色ある私学らしい取り組みをされていた。本校も負けていけないと感じた。
- 日山先生と林先生が取り組まれている授業展開、そして生徒たちが自主的な活動を高めている取り組みには終始圧巻だった。本校の取り組みにはないものばかりで、とても参考になった。今後の学校運営に役立てていきたいと思う。

〈その他〉

- 企業や地域との結びつきが重要であり、地域から応援されるような学校を目指そうと感じた。
- 講演、実践報告ともに興味深い内容で、また、本校での今後の参考になる内容だった。皆さんが自分の必要と思われることに向かって着実に歩みを進めていることに感動した。若い方の発想、実践、また生徒の可能性をおおいに感じた。

参加者数（部会別・都道府県別）

◆部会別参加者数

No.	部会名	参加者数
1	私学経営	137
2	教育課程	88
3	法人管理事務運営	105
4	生徒指導部会	90
5	特色教育部会	72
6	全体集会のみ参加	21
計		513

◆教育懇談会参加者数 277名

◆都道府県別参加者数

No.	都道府県	参加者数	No.	都道府県	参加者数	No.	都道府県	参加者数
1	北海道	22	17	石川	1	33	岡山	14
2	青森	0	18	福井	1	34	広島	31
3	岩手	2	19	山梨	1	35	山口	5
4	宮城	2	20	長野	1	36	徳島	6
5	秋田	6	21	岐阜	1	37	香川	52
6	山形	4	22	静岡	5	38	愛媛	56
7	福島	1	23	愛知	16	39	高知	34
8	新潟	2	24	三重	3	40	福岡	8
9	茨城	1	25	滋賀	3	41	佐賀	3
10	栃木	7	26	京都	25	42	長崎	8
11	群馬	2	27	大阪	29	43	熊本	8
12	埼玉	1	28	兵庫	7	44	大分	27
13	千葉	6	29	奈良	2	45	宮崎	1
14	神奈川	21	30	和歌山	2	46	鹿児島	8
15	東京	41	31	鳥取	25	47	沖縄	0
16	富山	0	32	島根	12			
計							513	

☆詳細な報告は、年度末までに作成の「全国私学教育研究集会香川大会研究集録」に記載致します。

2024.1 一般財団法人日本私学教育研究所